

医師育成・定着支援センター 令和4年度活動報告

佐賀大学医学部附属病院

医師育成・定着支援センター

江村 正（センター長、特任教授）

徳島 緑（副センター長、特任助教）

七條 千佳（特任助教）

徳島 圭宜（特任講師）

SAGA Doctor-Sプロジェクト

医師定着のために **SAGA Doctor-S プロジェクト**を展開！

3つの「S」の視点で様々な取組を実施

Spirit

1 佐賀県で学び・働き・活躍する「志」と「誇り」を！

日本の医療のあけぼのは佐賀。臨床現場で活躍する医「志」を育て、医療人としての「誇り」を醸成

Settlement

Support

2 医師を育てるオール佐賀のサポート体制を！

佐賀での医師の「学ぶ・働く・暮らす」をサポート！
UIJターンや学び直しも応援

Satisfaction

3 働きやすく・働きがいのある医療機関へ！

医師のみならず医療従事者が「働きたい！」
と思える勤務環境改善を推進

佐賀の医療の将来を担う医師の**育成・定着**を「オール佐賀」で支援！

4つのコンセプト

佐賀県に根ざし活躍する医師を育成するための拠点を佐賀大学医学部に設置！

4つのコンセプトで医師・学生の活躍を総合的に支援！

① Career Consulting

一人ひとりの学ぶ・働くを積極的にサポート

- ◆ 佐賀大学医学部の専任教員等が、医師・学生が県内で学び・働くに当たっての課題に対してアウトリーチ・サポートを実施
- ◆ サポートを通じて県内で継続した就業を実現

② Education

地域で活躍できる教育の充実

- ◆ 医師・学生が県内で活躍できるための卒前・卒後一貫した教育プログラムの企画・実施、佐賀への愛着の醸成
- ◆ 教育プログラムの実施を通じて県内での就業を実現

③ Evidence

③地域の医療を担う医師の育成のための調査・研究

- ◆ 地域の医療需要や医師の偏在の状況について調査・分析
- ◆ 医師の効果的な育成手法について科学的に研究し、課題や解決策を提言

④ Network

④オール佐賀の支援体制の構築

- ◆ 医師・学生の総合的な支援環境を整備するため、学生、医師、医療機関等のお互いの顔が見え、信頼して話せるネットワークを構築
- ◆ 県内外に様々な取組を情報発信

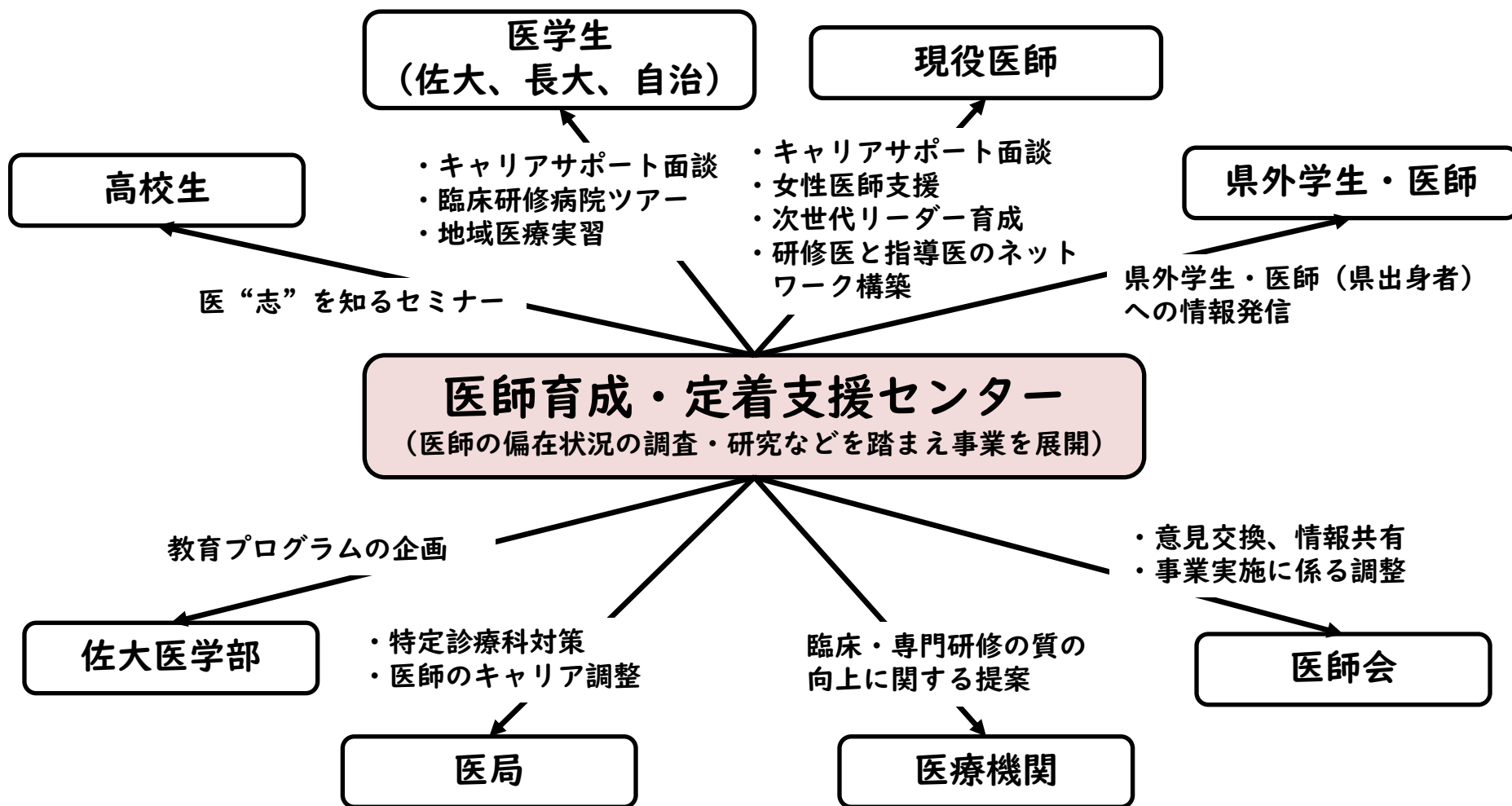
✓ 従来医局が担ってきた機能を補完

✓ 全県的、卒前・卒後一貫、診療科横断的、医局横断的、医療機関横断的、年齢・性別・入局の有無を問わず、総合的・一体的な取組

医師育成・定着支援センターの役割

佐賀で活躍する医師の育成・定着の拠点

(全県的、卒前・卒後一貫、診療科・医療機関横断的に医師のキャリア形成を支援)



中長期的な事業展開イメージ

- 医師確保計画期間と歩調を合わせ、令和5年度（2023年度）までにセンターを軌道に乗せるとともに、令和6年度（2024年度）以降の取組について、見直しを行う。
- 令和3年度は関係機関等連携体制の構築、調査・分析、必要な取組について検討を行いつつ、キャリアコンサルティングを実施する。
- 令和4年度から、具体的な取組のうち関係者との調整が整った事項について実施する。
- 令和5年度には最低限必要な事業の枠組みを完成させる。

事業展開イメージ

令和3年度（2021年度）

- ・地域枠等医師のキャリアコンサルティングを実施
- ・卒前教育の充実に関する教育プログラムの検討を開始

令和4年度（2022年度）

- ・地域枠等以外の医師へのキャリアコンサルティングを実施
- ・身近な医療提供支援開始
- ・医師の働き方を改善

令和5年度（2023年度）

- ・卒前支援プロジェクト開始
- ・市町運営診療所の代診医調整開始
- ・センターが行う基本的な事業の枠組みが完成
- ・第8次保健医療計画の策定に向けた見直し

令和6年度（2024年度）

- ・第8次保健医療計画の開始

数値目標（アウトカム指標）

①県内臨床研修医採用者数：毎年度70名

②県内専門研修医採用者数：毎年度55名*

【参考】

*肥前精神医療センターを除く

年度	①臨床研修医採用者数	②専門研修医採用者数*
平成30年度（2018年度）	46	50
令和元年度（2019年度）	64	46
令和2年度（2020年度）	69	45
令和3年度（2021年度）	57	51
令和4年度（2022年度）	60	53
令和5年度（2023年度）	52	42

令和4年度の取組

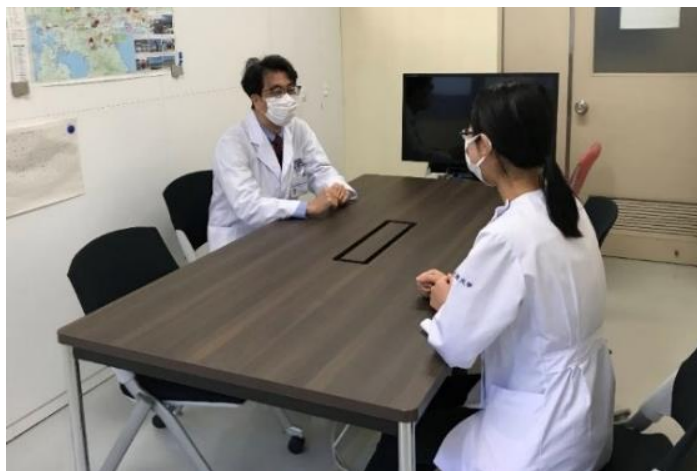
区分	取組	添付資料
① Career Consulting	ア-① 医学部生へのサポート面談	—
	ア-② 子育て医師等への各医療機関の取り組み（アンケート調査）	—
	ア-③ 医師が働きやすい職場づくり支援業務（産婦人科、麻酔科）	—
	ア-④ 医“志”を知るセミナー	資料 ア-④
	ア-⑤ 佐賀の未来の医療を担う医学部新入生オリエンテーション	資料 ア-⑤
	ア-⑥ 新5、6年生オリエンテーション等でのキャリア形成の講義	資料 ア-⑥-1～3
	ア-⑦ 臨床実習生・研修医に対する看護部へのアンケート調査	資料 ア-⑦
② Education	イ-① キャリア形成等に関する地域医療セミナー	資料 イ-①-1～5
	イ-② 夏期地域医療実習	資料イ-②
	イ-③ 佐賀県地域医療対策協議会臨床研修ワーキンググループ	—
	イ-④ 佐賀県次世代リーダー医師育成研修	資料 イ-④
	イ-⑤ 佐賀県臨床研修指導医養成のためのワークショップ	資料 イ-⑤
	イ-⑥ 内科一般外来勉強会	資料 イ-⑥
	イ-⑦ 医療人へのとびらプロジェクト	資料 イ-⑦
	イ-⑧ 佐賀大学インターフェース科目	資料 イ-⑧
③ Evidence	ウ-① 西部医療圏の医師確保についての情報収集	—
④ Network	エ-① 佐賀県医師・医学生キャリア支援サイトの維持・更新	—
	エ-② 臨床研修病院合同説明会の企画	—
⑤ その他	オ-① 日本医師会との連携	資料 オ-①-1～2
	オ-② 医師育成・定着支援センターの広報につながる活動	資料 オ-②-1～2
	オ-③ 医師の働き方改革に関連する活動	資料 オ-③-1～2
	オ-④ 公的な会議への参加	—

■ア-① 医学部生へのサポート面談（2023年2月末時点）

- 佐賀大学医学生 116名（のべ169名）

学年	面談のべ回数（回）	面談人数（名）
1年	42	25
2年	30	17
3年	19	15
4年	26	20
5年	25	19
6年	27	20
計	169	116

- 長崎大学佐賀県卒医学生 6名、自治医科大学学生 9名
- 地域卒等研修医 2名、医師（研修医以外） 3名



① Career Consulting

ア-④

■ア-④ 医“志”を知るセミナー（高校生・受験生対象）

回数	高校名	日程	参加人数（名）
1	佐賀北高校	6月17日（金）	4
2	致遠館高校	6月24日（金）	12
3	弘学館高校	7月4日（月）	34
4	小城高校	7月13日（水）	2
5	鹿島高校	7月14日（木）	8
6	鳥栖高校	7月15日（金）	9
7	佐賀西高校	8月5日（金）	37
8	オンライン	8月21日（日）	6
9	早稲田佐賀高校	9月14日（水）	30
10	武雄高校	10月14日（金）	14
11	唐津東高校	11月25日（金）	12
			合計 167名



■ ア-⑦ 臨床実習生・研修医に対する看護部へのアンケート調査

非公表

■イ-① キャリア形成等に関する地域医療セミナー

医学生のキャリア形成に資すると思われる講演会を開催し、「地域枠入学生特別プログラム」の単位を付与した。

活躍している先輩医師の話聞いてみよう！

テーマ：佐賀大学呼吸器内科入局後の
キャリアについて～留学と研究～

地域枠出身の医師の話聞いてみよう！～研修医編～

講師：村岡 みなみ 先生 佐賀大学医学部附属病院初期臨床研修医 1年目
山本 大誠 先生 佐賀大学医学部附属病院初期臨床研修医 1年目

4th Saga Women's Generalist Consortium ～SaWGeC～

テーマ：理想と現実のギャップをどう埋めるか

日時：2023年2月22日(水)18時～19時半

シンポジスト：

場所：総合診療部医局構
カンファレンスルーム
(研修医センターの上、北棟北2階)
※オンラインでも参加できます

- ❖ 西 智子(三瀬診療所所長)
- ❖ 香月尚子(佐賀大学助教・研究室長)
- ❖ 徳島 緑(医師育成・定着支援センター特任助教)
- ❖ 平川優香(佐賀大学助教)

■イ-② 夏期地域医療実習

令和4（2022）年度自治医科大学・佐賀大学・長崎大学合同夏期実習（資料イ-②）

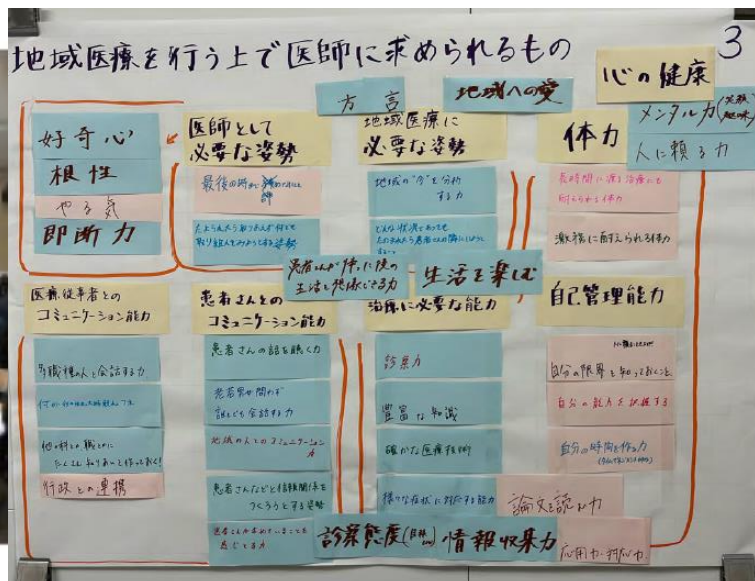
第1日目：8月17日（水）12：30-17：00

第2日目：8月18日（木）12：30-17：00

参加者

自治医科大学	1年生	2名
佐賀大学	1～5年生	37名
長崎大学	2～3年生	4名
計	—	43名

（体調不良等で1日間のみの参加者3名を含む）



■イ-④ 佐賀県次世代リーダー医師育成研修

昨年に引き続き、「組織マネジメント」を担う可能性がある医師を対象に「リーダーシップ」や「マネジメント」の基礎知識および技術を体系的に学ぶ機会を創出した。令和3年度は7回コースで行ったが、令和4年度は必要事項全体を網羅する目的で10回コースとした。

回	日時	曜日	時間	主題・内容
1	9月7日	(水)	18:00-19:30	マネジメント概論
2	9月22日	(木)	18:00-19:30	人材マネジメント
3	10月7日	(金)	18:00-19:30	会計
4	10月24日	(月)	18:00-19:30	ファシリテーション
5	11月8日	(火)	18:00-19:30	マーケティング
6	11月24日	(木)	18:00-19:30	リーダーシップ
7	12月13日	(火)	18:00-19:30	オペレーションマネジメント
8	1月18日	(水)	18:00-19:30	プロジェクトマネジメント
9	2月3日	(金)	18:00-19:30	プレゼンテーション
10	2月15日	(水)	18:00-20:00	病院経営・まとめ



佐賀県医師・医学生キャリア支援サイト 高校生、医学生、研修医、医師、女性医師の支援

佐賀県医師・医学生キャリア支援サイト

さ

☒ 何でも相談窓口

佐賀の医師育成方針

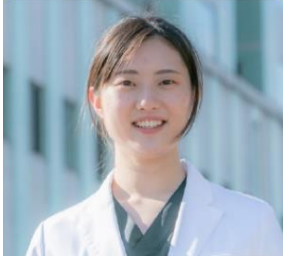
医師を目指す方

医師の方

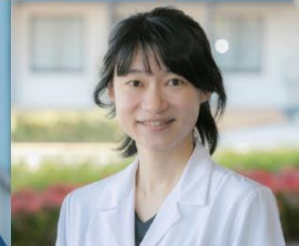
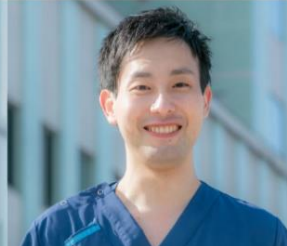
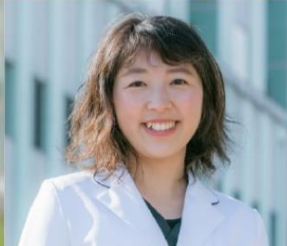
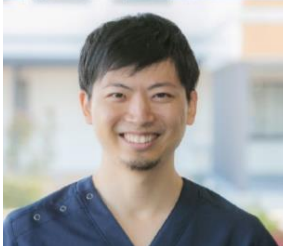
臨床研修情報

専門研修情報

働きやすい職場づくり



ひとりでも多くの人のために、
ひとりでも多くの仲間と。



・レジナビ Fair2022 福岡（博多国際会議場）、7月10日（日）

【成果】

・各大学の4-5年生を中心に82名が佐賀県のブースを来訪した。

・県内全ての基幹型臨床病院（6病院）に満遍なく学生が訪れ、その後の見学等に結び付けるきっかけとなった。



令和5年度の取組

R5 医師育成・定着支援センター実施事業（SAGA Doctor-Sプロジェクトの推進）

【現状】

佐賀で育った医師が**県外に流出**

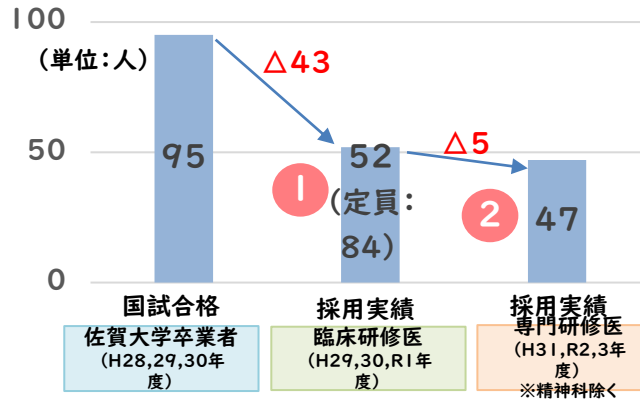
佐大卒業生の
6割が県外へ

県内での臨床研修
実施率**45%** (R3研修)

臨床研修
定員充足率**6割**

62% (3か年平均)

県内における医師の養成数 (3か年平均)



【目標】

1 県内臨床研修医採用者数
毎年度**70名**

2 県内専門研修医採用者数
毎年度**55名** ※精神科除く

R5新規事業

Spirit

(1) 卒前支援プロジェクトによるキャリア形成支援



[指導医]

- ・医学生の病院実習の機会が少ない
- ・医者としての主体的に佐賀の住民と接する場がない

佐大生の定着に向け、県内の病院・地域で実習する機会を拡充

Support

(2) SAGA医志団：代診医ネットワークの構築



[診療所医師]

- ・代診医がないため、休みづらい
- ・休む日は診療所を休診にせざるを得ない

市町運営の診療所（離島、三瀬、脊振）の
代診医を調整する仕組みを創設

Satisfaction

(3) 診療科偏在是正に向けた働き方改善



[医師]

- ・多忙すぎて若手医師の教育ができない
- ・人手不足で妊娠や産休取得が難しい

「働きづらさ」を感じない働き方へシフト
⇒R4：産婦人科、麻酔科にR5：小児科を追加

(I) 卒前支援プロジェクト (R5年度)

R5.3.20制定

既存

R5新規(予定)

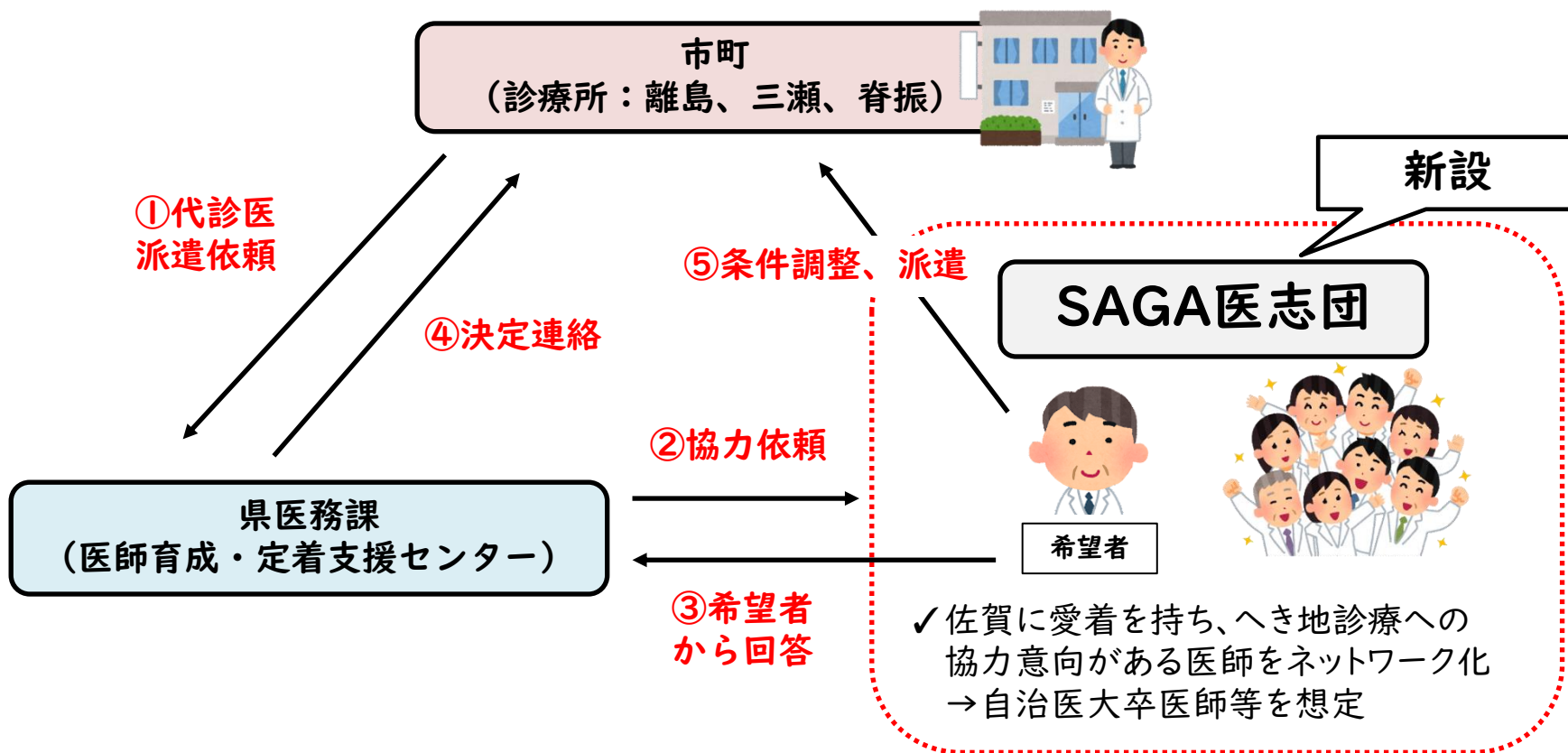
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
個別支援	①【センター／県】キャリア支援面談					
講義勉強会	統合調整	②【大学】地域医療セミナー				
		②【センター】キャリア形成セミナー				
		③【センター】診療科による勉強会				
見学	④【センター／県】臨床研修バスツアー					
実習	【大学】基幹病院・中核病院実習		【センター／県】西部医療圏等での病院実習(調整中)			
	⑤【センター／県】夏期地域医療実習				※参考 【大学】地域医療実習	

(2) SAGA医志団：代診医ネットワークの構築

へき地診療など不採算医療を担う市町運営診療所からの依頼を受け、代診医を斡旋する仕組みを構築し、医療確保を支援

【想定される効果】

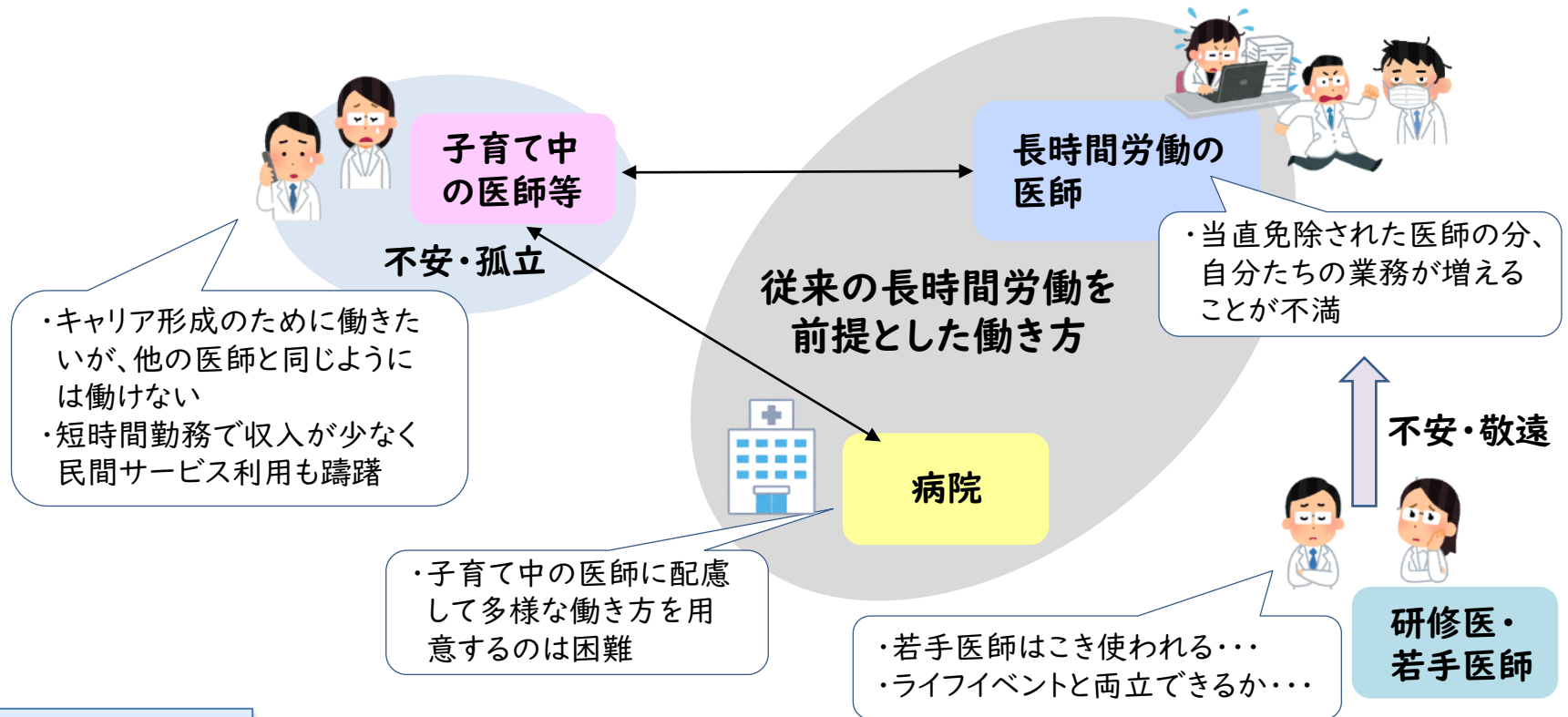
- ・感染症等の影響で常勤医が不在となった場合の迅速な短期派遣対応
- ・常勤医の休暇取得促進（子育て支援、通院、研修、学会出席、忌引きなど）



(3) 診療科偏在是正に向けた働き方改善①

課題

医療機関における「**長時間労働できる医師を前提とした働き方**」が、人材確保上の阻害要因の1つ。



対策の方向性

労働時間(量)の適正化とあわせ、働き方(質)を見直し

「**だれもが『働きづらさ』を感じなくてよい働き方**」へ

(3) 診療科偏在是正に向けた働き方改善②

取組のイメージ

- 男性医師を含めた診療科における働き方改革を支援し、①若手医師・女性医師の県外流出・労働市場からの流出の抑制、②入局者の増を図る。
- 医師の働き方改革に実績のある専門家（コンサルティング会社）と連携して効果的に支援する。

Step 1

コンサル

- 勤務実態・要望の現状調査
- ✓ 診療科ごとの勤務実態・要望調査
 - ✓ 医師へのヒアリング調査

Step 2

コンサル

- 取組提案・実行支援
- ✓ タスクシェア・タスクシフト
 - ✓ 業務の見える化、効率化
 - ✓ キャリア形成プランの策定

(取組イメージ)
複数主治医制の導入
早朝カンファの見直し
当直明け連勤の見直し

Step 3

医師育成・定着支援センター

- 横展開
- ✓ 他の診療科への展開
 - ✓ Step 1、2で顕在化した制度面の課題へのアプローチ
- (+ α の取組イメージ)
短時間勤務制度の導入検討
病児・病後保育支援の充実検討

調査
分析

トライアル
支援

横展開
+ α

R4 : 産婦人科・麻酔科で実施
⇒ 様々な課題が明らかに

医局の取組を支援

大学病院への改善提案

R5 : 小児科を追加

3科を継続支援